



# 平成29年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年4月28日

上場会社名 ホウライ株式会社

上場取引所 東

コード番号 9679 URL <http://www.horai-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷澤 文彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼常務執行役員財務企画部長 (氏名) 泰地 伸宏

TEL 03-3546-2921

四半期報告書提出予定日 平成29年5月1日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年9月期第2四半期の業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	2,418	4.4	12	88.6	109	47.2	128	12.6
28年9月期第2四半期	2,529	7.8	110		207	95.4	147	99.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	92.13	
28年9月期第2四半期	105.42	

当社は、平成29年4月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	18,270	7,068	38.7
28年9月期	18,338	6,986	38.1

(参考)自己資本 29年9月期第2四半期 7,068百万円 28年9月期 6,986百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		0.00		5.00	5.00
29年9月期		0.00			
29年9月期(予想)				50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年4月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成29年9月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成29年9月期(予想)の1株当たり期末配当金は5円00銭となります。

## 3. 平成29年9月期の業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	3.8	300	23.6	470	0.5	390	13.7	279.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年4月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成29年9月期の業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期2Q	1,404,000 株	28年9月期	1,404,000 株
期末自己株式数	29年9月期2Q	6,971 株	28年9月期	6,899 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期2Q	1,397,072 株	28年9月期2Q	1,397,339 株

当社は、平成29年4月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数につきましては、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 平成29年9月期第2四半期累計期間業績予想と決算値の差異に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に、雇用・所得環境は改善が続き、企業収益も足踏みから改善の動きが出てくる等、景気は総じて緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、中国を始めアジア新興国の景気下振れリスクや、米国の新政権による政治・経済政策の動向、金融政策正常化の影響等、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社は各事業がそれぞれの特性に応じた施策の推進に努めました。各事業ともに営業収益、営業総利益は、前年同期を下回りました。一般管理費は、システム更改に伴う経費増を主因に前期を上回り、営業利益は前年同期比減益となりました。

当第2四半期累計期間の経営成績は、営業収益が2,418百万円(前年同期比111百万円減)、営業総利益は308百万円(前年同期比90百万円減)、一般管理費は296百万円(前年同期比6百万円増)となり、営業利益は12百万円(前年同期比97百万円減)となりました。営業外収益にゴルフ会員権消却益104百万円(前年同期比4百万円増)を計上したことを主因に、経常利益は109百万円(前年同期比97百万円減)となり、四半期純利益は128百万円(前年同期比18百万円減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。なお、前第3四半期会計期間より報告セグメント区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### ①保険事業

お客様の多様化するニーズに対応した商品提案を行うとともに、リスクコンサルティング営業に努めました。損害保険分野は、多様化や新たなマーケット開拓に努めましたが前年同期に大口火災保険を長期で更改した反動減をカバーするには至りませんでした。生命保険分野は、法人、個人ともに新規契約が伸び悩みました。この結果トータルの営業収益は524百万円(前年同期比34百万円減)となりました。営業原価は、営業推進体制強化のため人件費は増加しましたが、DM費用の見直し等各種費用圧縮に努め、経費全体では前年同期並みとなり、営業総利益は177百万円(前年同期比33百万円減)となりました。

#### ②不動産事業

前期大口テナントが退出したさくら堀留ビルの後継テナントの入居が完了し、賃貸ビル全体でも高い入居率を維持しておりますが、テナント入替えに伴う賃料水準の低下に加え、新宿ホウライビルで一部賃料改定により賃貸収入が減少したことから、営業収益は773百万円(前年同期比69百万円減)となりました。営業原価は、前年同期の池袋室町ビルの大口修繕工事がなくなったことによる修繕費の減少や、新宿ビルの一括賃借料の減少等により前年同期を下回り、営業総利益は286百万円(前年同期比51百万円減)となりました。

#### ③千本松牧場

各種企画やイベントの開催に加え、冬場人気のいちご園を再開しました。また、旅行会社・近隣観光施設との連携強化や各種メディアを通じた広告宣伝を活性化させ、集客に努めました。しかしながら、秋口以降年明けにかけて天候に恵まれず、春の訪れとともにやや持ち直しの兆しがでてきたものの、来場者数は前年同期に届かず、食堂・売店の減収を主因に、直販サービス部門の売上は前年同期を下回りました。子牛販売が増加した酪農部門は、前年同期を上回りましたが、部門全体では営業収益は828百万円(前年同期比6百万円減)となりました。営業原価は、配送ルート見直しによる運賃の圧縮等経費節減を主因に前年同期を下回り、営業総損失は66百万円(前年同期比0百万円の悪化)となりました。

#### ④ゴルフ事業

魅力を高める工夫に努めた平日コンペ企画、各種競技会・大会の誘致と開催、ホウライ・西那須野両コースを舞台として、2年目となる長寿ゴルフレッスン番組シリーズを秋にテレビ放映したのに続き、年明けからは、クラブチャンピオンがプロにマッチプレーを挑む人気番組を4週に亘り放映する等メディアを活用した来場者誘致に努めました。しかしながら、豪雨による競技会の一部中止や季節外れの雪によるクローズの影響もあり、来場者数は前年同期を若干下回りました。結果、営業収益はプレー収入の減少を主因に291百万円(前年同期比1百万円減)となりました。営業原価は、営業・接客強化のための体制整備により人件費は増加し、各種経費の圧縮により一部カバーしましたが、営業原価合計は前年同期を上回り、営業総損失は88百万円(前年同期比5百万円の悪化)となりました。

(2) 平成29年9月期第2四半期累計期間業績予想と決算値の差異に関する説明

平成29年3月30日に公表いたしました平成29年9月期第2四半期累計期間の業績予想と、本日公表の決算値に下記のとおり差異が生じました。

差異の理由といたしましては、前回発表予想より天候要因等により、千本松地区事業における営業収益が下振れるとともに、原価率が上振れたことによるものです。

なお、通期の業績予想につきましては、概ね前回予想どおりに推移すると予想しており、前回予想に変更はございません。

平成29年9月期第2四半期(累計)業績予想値と決算値との差異

(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,420	20	120	140	100.21
今回決算値 (B)	2,418	12	109	128	92.13
増減額 (B-A)	△2	△8	△11	△12	—
増減率 (%)	△0.1	△40.0	△9.2	△8.6	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年9月期第2四半期)	2,529	110	207	147	105.42

※当社は、平成29年4月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,479,031	3,323,391
受取手形及び売掛金	296,228	323,493
商品及び製品	123,690	103,184
仕掛品	3,240	24,208
原材料及び貯蔵品	64,635	61,959
その他	101,315	93,639
貸倒引当金	△1,467	△1,404
流動資産合計	4,066,674	3,928,472
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,107,151	3,075,466
土地	7,056,555	7,056,555
その他(純額)	2,464,997	2,494,335
有形固定資産合計	12,628,704	12,626,357
無形固定資産	74,165	74,385
投資その他の資産		
その他	1,591,648	1,664,007
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	1,568,648	1,641,007
固定資産合計	14,271,518	14,341,749
資産合計	18,338,192	18,270,221
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	76,632	80,258
1年内償還予定の社債	98,000	98,000
未払法人税等	56,148	25,200
引当金	37,697	43,738
その他	684,470	692,302
流動負債合計	952,947	939,499
固定負債		
社債	1,161,000	1,112,000
長期預り保証金	8,866,625	8,753,224
引当金	122,847	146,437
資産除去債務	41,337	41,721
その他	206,718	208,948
固定負債合計	10,398,529	10,262,331
負債合計	11,351,477	11,201,831
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,340,550	4,340,550
資本剰余金	527,052	527,052
利益剰余金	2,083,783	2,142,638
自己株式	△16,843	△16,994
株主資本合計	6,934,543	6,993,246
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	52,172	75,143
評価・換算差額等合計	52,172	75,143
純資産合計	6,986,715	7,068,390
負債純資産合計	18,338,192	18,270,221

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
営業収益	2,529,691	2,418,278
営業原価	2,130,468	2,109,641
営業総利益	399,223	308,637
一般管理費	289,084	296,076
営業利益	110,139	12,560
営業外収益		
受取利息	437	148
受取配当金	1,304	1,610
会員権消却益	99,975	104,785
その他	14,717	9,634
営業外収益合計	116,434	116,179
営業外費用		
支払利息	5,488	5,229
支払保証料	8,828	8,145
その他	5,010	5,847
営業外費用合計	19,328	19,221
経常利益	207,245	109,518
特別利益		
補助金収入	—	9,400
特別利益合計	—	9,400
特別損失		
固定資産除売却損	8,561	17,410
固定資産圧縮損	—	9,400
特別損失合計	8,561	26,810
税引前四半期純利益	198,683	92,108
法人税、住民税及び事業税	50,466	11,333
法人税等調整額	916	△47,934
法人税等合計	51,382	△36,601
四半期純利益	147,301	128,709

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。